

# 原水禁世界大会福島大会

## 国労水戸

国労水戸地方本部  
水戸市中央1-1-11  
ENYビル2F  
029-221-4008  
発行責任者 久保田重明  
編集責任者 坂下 司

### 原発も核も戦争もない 平和な社会へ

7月27日、被爆74周年原水爆禁止世界大会福島大会が開催し、約620名が参加した。

黙とうから始まり、主催者、地元あいさつ、高校生平和大使からの訴えがあった。

「被災者の生活再建・健康問題と脱原発」をテーマにシンポジウムが行われ、大会アピール、デモ行進で閉会した。

福島県平和フォーラム代表から、東京電力福島第2原子力発電所4基の廃炉が決まり、福島すべての原子炉の廃炉が決まった。この廃炉作業には約40年と言

われている。使用済み燃料が約一万吨もある。安全をアピールする国や東電の動きもある。大会基調ではトランプ政権下の動きはオバマ政権時代の世界における核廃絶の動きを一変している。安倍政権もトランプ政権に追随している。

**職場の矛盾  
仕事の不満  
国労に結集し  
みんなを相談 解決へ**

シンポジウムでは、高齢化の現状は震災前から避けることのできない現状にあってと感じていたが震災が発生しソフトランディング的な移行ではなくなった。村民の70%が高齢化という状態にある。多くの内容に共通するが復興というとき「何を復興するのか」ということを感じてやまない。



## 常磐線運転再開へ

7月5日、JR東日本は来年3月までに常磐線富岡～浪江間の復旧・再開後、仙台～東京間、特急を直通運転する事を検討するとマスコミに発表した。

福島第一原発事故から8年が経過したが廃炉にはまだまだ先のことである。今回の発表に関して、各自治体では復旧・復興に加速がとくと歓迎した。

会社からは「運転再開に向けての準備」について提案があった。必要な教育・訓練として富岡～浪江間運転再開に関するスケジュール(案)が9月上旬から予定されている。運転計画について決定次第説明するとなつていく。明も一か月。具体的な説明もない中、組合員から不安の声も聞かれる。

### 8月中旬要求を申し入れへ

乗務区間の見直し

いわき運輸区 いわき～富岡間  
原ノ町運輸区 いわき～仙台間 (運転士は仙台車両センター構内を含む)

安心して働ける条件を作るため、各分会・班は議論をし要求を持ち寄ろう。